

まちの話題

My town topics

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

1 七夕短冊に願いを込めて

7月1日、千種保育所さくら組の園児17名が、市総合保健福祉センターと市民病院を訪れ、七夕飾りを贈呈しました。七夕飾りは園児たちが約1カ月かけて作製。短冊には覚えての文字で、「けいさつかんになれますように」「かんごしさんになれますように」など、思い思いの願いが込められていました。また、訪れた人に願い事を書いてもらおうと短冊とペンも設置されていて、にぎやかな雰囲気になっていました。



千種保育所
なかしま そな
中島 想奈ちゃん

ねがいかなえ

保育所のみんとたなばたかざりをつくってたのしかったです。うさぎのにぎょうをもっているの、そのおうちがほしいとねがいごとをしました。ぴょういんのたんざくにはぴょうぎの人がよくなってほしいとおねがいしました。かなうといいな。



2 都井地区で五穀豊穡願う

7月3日、地域の五穀豊穡を願う都井神社の夏祭りが行われました。100年以上にわたり都井地区で継承されていると言われる伝統行事で、関係者らが都井地区の迫・宮原・東・宇戸を練り歩き、各地区で祈願祭を行いました。それぞれの地区で住民たちが見守る中、2頭の獅子の五穀豊穡を願う力強い舞いが太鼓の音に合わせて披露され、舞が終わると獅子が住民の頭をかんで回り、無病息災を祈願していました。



都井地区・東
おおはた こうたろう
大畑 幸太郎さん

伝統をつなぐ

昔みたいに地区住民が集まる行事が少なくなってきたので、この祭りはみんなが集まるいい機会になっています。東地区は後継者も多く、子どもも多いので喜んでくれたと思います。昔から伝わる伝統行事なので、これからもつないでいきたいですね。



3 パトカーで交通安全啓発

7月11日、「夏の交通安全県民総ぐるみ運動」に伴い、交通安全啓発のため、福島小学校で結成されている交通安全少年団の団員10名がパトカーに乗って広報活動を行いました。10名は、串間警察署のパトカーや市役所の青パトで市内を回りながら自ら作成した啓発メッセージを読み上げ、交通安全を呼びかけました。また、先に学校に戻った児童は、校門前を通る車に対し頭を下げながらあいさつし、啓発活動を行いました。



福島小学校 4年生
かじき えみ
加治木 笑真さん

事故なくなれ

初めてパトカーに乗って広報活動しました。交通安全を呼びかけるメッセージを読むのは、すごくドキドキしました。福島小の交通安全少年団はいろいろな活動をしているのですが、これからはあいさつ活動も始まります。事故が少なくなるといいです。



4 知事と団体代表意見交換

7月14日、市役所で知事と串間市民が県政や地域の課題などについて意見交換を行う「知事とのふれあいフォーラム（こんにちは！河野です）」が開催されました。フォーラムには農林水産業や商工業等各種団体の代表者など28人が参加。観光や産業、道路、福祉などさまざまな分野で活発な意見交換が行われました。また、フォーラム後には知事と市職員が意見交換を行う「役場でくるま the 談義」も行われました。



串間市サイクリング協会
たざわ けんじ
田沢 兼治さん

貴重な機会に

設立して間もない団体なのに、こういう貴重な場に参加させていただき大変ありがたいです。知事と対話させていただき、私たちの活動や串間をサイクリングで盛り上げていきたいという思いを伝えました。少しでもアピールできたので良かったです。



5 消防団6隊消防操法競う

7月17日、串間市消防署訓練場で消防団が日頃の訓練の成果を競う『第26回消防操法大会』が行われました。大会には、市内6分団から6隊の消防団が出場。5人1組で火点を想定した標的を倒すまでのタイム、操作の安全性、確実性、迅速性、規律などを競い、日頃の練習の成果を披露しました。この日、見事優勝に輝いたのは大東分団第4部。同隊は串間市を代表して、8月27日に開催される県大会に出場します。



大東分団第4部
やまぐち あきひろ
山口 昌弘さん

今までで一番

約1カ月、みっちり練習をして本番に臨みました。雨で状況が悪く、本番でベストタイムを更新することができ、これまで一番うまくいきました。来月の県大会に向けてまた練習して、串間代表として優勝目指してみんなで頑張りたいと思います。



6 働くことの意味を考える

7月11日～7月13日の3日間（一部生徒は15日まで）、福島高校2年の生徒約70名が各事業所で、就業体験（インターンシップ）をしました。市役所では、総合政策課や学校政策課、市民生活課などのさまざまな課に配属され、業務を体験。体験を通し仕事の意義や働くことの大変さ、厳しさを学びました。就業体験後には「いつも自分たちのために働いてくれる親にもっと感謝しなければならぬ」と話していました。



福島高校 2年生
ひらお まこと
平尾 真也さん

経験を生かす

ふるさと納税について教えていただいたり、国際交流員や市民の方々と一緒に英会話教室などに参加させていただきました。自分の意見を簡潔に伝えることが大変でした。この経験を生かし、自分の仕事には責任を持って最後までやり遂げたいです。



交通安全子供自転車県大会3連覇

7月2日に行われた自転車の乗り方についての知識や技術を競う『交通安全子供自転車県大会』の団体の部で、北方小学校が3連覇を果たし、また、個人の部でも5位以内に3人が入る好成績を収めました。メンバーは、8月3日に開催される全国大会に出場します。



表敬訪問の様子

平和への願い込め 千羽鶴贈呈

7月21日、秋山小学校で千羽鶴の贈呈式がありました。同校は原爆被害を受けた長崎市立山里小学校へ千羽鶴を贈っており、今年で34回目。児童らが平和への祈りを込めて折った千羽鶴が、8月9日に山里小を訪れる県原爆被害者の会の部司正明さんに託されました。



贈呈式で記念撮影

※当記事は総務課で就業体験をした萩原帆南さん、内匠桐子さん、平尾真也さんが記事の作成、写真撮影、インタビューを行いました。